

科目名	ファッションデザイン	学年	2年	使用教材	【教科書】ファッションデザイン 文部科学省
		必修・選必・コース選			【副教材】
		単位数	4単位		

#### 学習目標

ファッションデザインの基礎、発想と表現法などに関する知識と技術を習得させ、ファッションを創造的にデザインする能力と態度を育てる。

#### 学習方法

- 実践的・体験的な学習活動を通して、ファッションデザインに関する分野を科学的・総合的にとらえていくことに努める。
- 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、ファッションデザインの知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践する。
- 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組む

#### 学習評価

- 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

知識・技術	ファッションデザインの基礎、発想や表現の方法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
思考・判断・表現	ファッションデザインに関する課題を発見し、ファッション産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	ファッション産業の発展を目指して自ら学び、ファッションの創造的なデザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

- 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	第1章 ファッションデザインの意味 第3節 ファッションデザインとは何か ① ファッションの定義 ② ファッションと流行 ③ ファッションと社会  第2章 ファッションデザインの基礎 第1節 ファッションデザインと形態 第3節 ファッションデザインと文様・テクスチャ  ○ファッションデザイン実習	○ファッションデザインの目的をよく理解してデザインの本質について思考を深める。  ○衣服の基本構造と構造線、装飾線について理解を深め、衣服のデザインに必要な知識や技術を身につける。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、デザインの本質、衣服の基本構造などについて実習も交えながら学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (中間・期末考査) (提出物) (自己評価) (作品の出来上がり)
2 学期	第2章 ファッションデザインの基礎 第4節 ファッション美的統一 ① ユニティ ② ハーモニーとコントラスト ③ バランスとシンメトリー ④ リズムとプロポーション  第3章 ファッションデザインの発想と表現法 第1節 ファッションデザインの発想  ○ファッションデザイン実習	○ハーモニーとコントラスト、シンメトリー、アシンメトリー、ビューティフルプロポーションなどについて理解を深め、美しいファッションデザインをするために必要な知識や技術を身につける。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、衣服をデザインするときのバランスなどについて実習も交えながら学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (中間・期末考査) (提出物) (自己評価) (作品の出来上がり)
3 学期	○スワッチについて ①スワッチの計画 ②スワッチの製作 ③発表	○1・2学期に学習してきたデザインに関する内容を総合して、マイショップ及び商品の企画を考え、実際に企画書の作成を行うことが出来る。  ○自分の企画書についてきちんと説明し発表することが出来る。	○教科書、ワークシート、資料集、実物見本、ファッション雑誌、インターネットなどを活用し、マイショップの企画について実習等を通して学習する。 (学習状況観察) (ワークシート) (期末考査) (提出物) (自己評価)

科目名	ファッション造形	学年	2年	使用教材	【教科書】ファッション造形 実教出版
		必修・選必・コース選			【副教材】
		単位数	6単位		

学習目標

被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させ、被服を創造的に製作する能力と態度を育てる。

学習方法

- 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】
- 被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力】
- 授業で活用するワークシートを上手に活用し、各自の課題を的確に捉え、ファッション造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】

学習評価

○次の3つ観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。

知識・技術	被服製作に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ファッション産業における製作者、ファッションの提案者としての役割を理解している。
思考・判断・表現	被服製作について自ら思考を深め、基礎的、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	被服製作について関心をもち、自分の技術の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、主体的かつ協働的に取り組む多度を身に付けている。

○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	<p>1、被服製作オリエンテーション</p> <p>2、パターン製作の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平面作図と立体裁断について</li> <li>・原型について</li> <li>・原型の縫合せ方</li> </ul> <p>3、ワンピースドレス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンピースドレスの変遷</li> <li>・ワンピースの名称、デザイン、素材。</li> <li>・新原型の操作</li> </ul> <p>3、ワンピースドレスの製作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① デザイン画作製</li> <li>② 製図</li> <li>③ 裁断</li> <li>④ 縫製 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身頃の製作</li> <li>・ 袖又は衿の製作</li> </ul> </li> <li>⑤ファスナー付け</li> </ol>	<p>被服製作の目的をよく理解し、知識や技術を身につける。</p> <p>原型の製図及び縫製について理解し、パターン製作、立体構成する能力を身につける。</p> <p>ワンピースドレスの種類や歴史の変遷を理解する。</p> <p>自分描いたデザイン画からパターンを引き、立体構成する能力を身につける。</p> <p>コンシールファスナーのつけ方を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・資料プリント</li> <li>・視聴覚教材</li> <li>・部分縫い資料(衿、袖)</li> <li>・パターン資料</li> </ul> <p>【学習状況観察】</p> <p>【進 度 表】</p> <p>【作品・提出物】</p> <p>【 自己評価 】</p>
2 学期	<p>2、衿無ジャケット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材選び</li> <li>・デザイン画作製</li> </ul> <p>3、衿無ジャケットの製作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地直し</li> <li>② 裁断</li> <li>③ 芯はり</li> <li>④ 切りび付け</li> <li>⑤ 仮縫い(補正)</li> <li>⑥ ポケット作り (パッチポケット)</li> <li>⑦ 身頃作り <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肩縫い</li> </ul> </li> </ol>	<p>自分描いたデザイン画からパターンを引き、立体構成する能力を身につける。</p> <p>ウール素材の取り扱いについて学習する。</p> <p>裏つきジャケットの基本的な縫製を学習する。</p> <p>パッチポケットの作り方を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・資料プリント</li> <li>・視聴覚教材</li> <li>・部分縫い資料(衿、袖)</li> <li>・パターン資料</li> </ul> <p>【学習状況観察】</p> <p>【進 度 表】</p> <p>【作品・提出物】</p> <p>【 自己評価 】</p>

<p>3 学 期</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 裏地と見返し縫い</li> <li>・ 前端縫い</li> <li>・ 脇縫い（脇とじ）</li> </ul> <p>⑧ 袖作り</p> <p>⑨ 袖付け</p> <p>⑩ 裾のしまつ</p> <p>⑪ 仕上げ</p>	<p>袖作り（裏地のしまつ、いせ込み）について基本的な縫製技術を学習する。</p> <p>裏地の処理方法（たてまつり、奥まつり、星止め）等の基礎的縫製技術を学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書</li> <li>・ 資料プリント</li> <li>・ 視聴覚教材</li> <li>・ 部分縫い資料（衿、袖）</li> <li>・ パターン資料</li> </ul> <p>【学習状況観察】</p> <p>【進 度 表】</p> <p>【作品・提出物】</p> <p>【 自己評価 】</p>
----------------------	--	---	--

科目名	課題研究	学年	2年	使用教材	【教科書】
		必修・選必・コース選			【副教材】
		単位数	2単位		
<b>学習目標</b> 家庭の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。					
<b>学習方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭の各科目で学習した知識と技術を生かして、生徒が主体的に課題を設定し、課題の解決を目指して調査、研究、実験などを行うようにする。</li> <li>○ 家庭の各科目で学習した知識と技術を活用するとともに、さらに発展させて、個人又はグループで創意工夫した作品を製作する。</li> <li>○ 企業及び関係機関において、実践的・体験的な学習を行い、家庭に関する専門分野のより深い知識と技術を習得させるとともに、明確な目的意識をもたせるようにする。</li> <li>○ 生徒自らの進路希望や興味・関心等に応じた家庭に関する専門分野の資格取得や技術検定、各種コンテストのための学習に取り組むことにより、専門的な知識と技術の深化、総合化を図る。</li> </ul>					
<b>学習評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。</li> </ul>					
知識・技術		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服製作について関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組んでいるか。</li> <li>・実践的態度を身につけているか。</li> <li>・提出物を期限内に提出しているか。</li> </ul>			
思考・判断・表現		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服製作に関する基礎を踏まえ、計画に従って能率的かつ美的に製作できるとともに、創意工夫やアイデアを生かして適切な表現技法により、ファッション製品を製作することができる</li> <li>・能力と実践的な態度</li> </ul>			
主体的に取り組む態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の発見と、その解決方法について関心を持ち、調査、研究、実験、作品製作等に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。</li> </ul>					

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1	<p>&lt;和服コース&gt; ○浴衣の製作</p> <p>&lt;洋服コース&gt; ○衣生活分野に関する調査・研究</p>	<p>○和裁の基礎縫いを理解し、浴衣作りに応用する。</p> <p>○専門的な知識・技術の深化・総合化を図り、衣生活分野に関する課題の発見・解決に取り組むことができる。</p> <p>○シャツの製作を通して知識や技術を身につける。</p> <p>○問題集を解き、被服製作に対する知識と理解を深める。</p>	<p>○ワークシート、段階標本、実物見本等を活用する。(学習状況観察・提出物)</p> <p>○情報通信ネットワークやデザインブック、資料等を活用する。</p> <p>○シャツ製作のテキスト、技術検定の要項、筆記試験問題集等を活用し、家庭科技術検定の資格取得に向けた対策を行い受験する。</p>
2	<p>&lt;和服コース&gt; ○浴衣の製作と着付け</p> <p>○一重長着の製作(和服検定1級)</p> <p>&lt;洋服コース&gt; ○衣生活分野に関する調査・研究・作品製作</p> <p>&lt;和服・洋服コース&gt; ○課題研究まとめ・成果発表</p> <p>&lt;和服・洋服コース&gt; ○被服検定洋服1級の事前作業</p>	<p>○浴衣の着付けを理解し簡単な着付けができる。</p> <p>○一重長着の作り方を理解し、長着が製作できる。</p> <p>○調査・研究した内容をもとに創意工夫した作品を製作することができる。</p> <p>○研究成果の発表を行うことで、情報を的確に理解し効果的に表現する言語能力の育成を図る。</p>	<p>○ワークシート、段階見本、実物見本等を活用して、浴衣や長着の製作を学習する。(学習状況観察・ワークシート・期末考査・自己評価)</p> <p>○計画・実践・評価・改善の過程を記録し、見通しを立てて作品を製作する。</p> <p>○調査・研究した内容を適切に発表する。(学習状況観察・作品・発表資料)</p>
3	○被服検定洋服1級の事前作業	○洋服1級のジャケットの事前作業(ポケット、袖作り等を製作する。	○段階見本等を活用して、製作する。

科目名	ライフ デザイン	学年	2年	使用 教材	【教科書】
		必修・選必・コース選			【副教材】楽しく学べるマナーの基本
		単位数	1単位		

#### 学習目標

家庭や学校、地域など、私たちの生活を支えている人々と良好な関係を保ち、気持ち良く生活するための心構えを身につける資質を養う。人の一生について考え、自分らしい生き方をデザインし、必要な知識と技術を修得させる。実習や体験的学習を行い、問題解決能力を養う。

#### 学習方法

- 高校生としてのマナーについて学び、進学・就職活動を円滑に行える実践的態度を身につける。
- 年中行事を通して、日本人としての誇りを再発見し日本文化を身近に感じる機会とする。
- 生活に関する基礎知識を習得し、ビジネス検定や秘書検定等日常生活で実践活用できるライセンスを取得することを目指す。

#### 学習評価

- 次3つ観点に基づき、学年末に5段階の評定に総括する。

① 知識・技術	<p>○社会人としての振るまい方や考え方について理解し、社会で必要な能力及びライセンスを取得するための知識を身につけている。</p> <p>○ライフデザインで学んだ基礎的・基本的な知識や技能を生かし、各々の作品製作やレポート作成、進路活動などを行うことができる。</p>
②思考・判断・表現	<p>○ライフデザインを学んだことにより、自分の生活課題を主体的に解決するための思考を深め、高校生として歩んできた今までの人生を振り返り創造する能力を身に付けている。</p>
③主体的に取り組む態度	<p>○日本文化に関心をもち、各自の家庭生活に於ける課題を設定し、意欲的に取り組む主体的かつ実践的で協同的に取り組む態度を身に付けている。</p>

## 2年 ライフデザイン 学習プログラム（年間学習計画）

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期	1 ライフデザインを学習するにあたって 2 高校生としてのマナーについて 3 日本の年中行事について ・ 節目の行事 ・ 各月の行事 4 外出先でのマナー ・ 和室でのマナー ・ お茶、お菓子の出し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オリエンテーション</li> <li>・ ライフプランを考える。</li> <li>・ 自己の進路実現を踏まえ学習の目的を明確にする。</li> <li>・ 古来から受け継がれる、伝統行事を学習し、自分に取り巻く日常生活を振り返る。</li> <li>・ 和室での所作を学習し、基本的なマナーを身につける。</li> </ul>	ワークシート、演習を通して、 <b>【ワークシート】</b> <b>【考査】</b> <b>【実習】</b> <b>【課題】</b> <b>【レポート】</b>
2 学期	5 書き方のマナー ・ 手紙 ・ 封筒 ・ はがき ・ 招待状や案内状 ・ よく使用する挨拶文例 6 社会人としてのマナー ・ 履歴書 ・ 面接 ・ 挨拶 ・ 名刺 ・ 電話の応対 7 ファッション販売技術について ・ 商品の知識 ・ 接客の基本動作 ・ 販売技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しい書き方を覚えた上で、その人らしさを表現する力を身につける。</li> <li>・ 学習を通して、次年度の進路活動を円滑に進める力を養う。</li> <li>・ ファッション販売における基本技術の習得。</li> <li>・ 販売員としての基本的技術の習得。</li> <li>・ 販売促進につながるPOPデザイン技術の習得と商品の特徴の理解。</li> </ul>	
3 学期	8 食事のマナー ・ 箸使い ・ 和食マナー ・ 洋食マナー 9 国際人としてのマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しい箸使いをマスターし、各種料理をおいしく楽しみながら食事する学習を深める。</li> <li>・ グローバル社会で活躍できるに於いて、外国人とコミュニケーションを取ることができる態度を養う。</li> </ul>	

